

わたしらしくをあたらしく

LUMINE



in アースデイ東京 2014



choroko(チョコロ)とは、スワヒリ語で“緑豆”という意味。ルミネの環境への取り組みが、芽吹き、ぐんぐん育つことを願って名付けました。

## 愛しく思うものが、ふえてゆく暮らしへ。

### 毎日の中で、気づいていくこと。

季節の息づかいを感じたり、自分を囲むものへ思いを馳せてみたり。自然と寄り添い、未来への意識を高めていくことが、これからのエコアクションにとって、とても大切なことなのではないでしょうか。新聞やネットで目にした地球環境のニュースを話題にしてみることも、その一つになるのかもしれませんが。毎日の生活の中で、ものや人との繋がりに、今よりもうちょっと、心を寄せてみる。そこから芽生えた、何かや誰かを思う気持ちをきっかけにして、少しずつ出来ることに取り組んでみる。そんな、毎日の暮らしにそっと根をおろすような変化の広がり、互いに思い合える豊かな暮らしへと、繋がっていくのではないのでしょうか。

### 私たちが考える、等身大の環境活動。

ルミネでは、環境について考え、行動するためのプロジェクトとして、2011年に“choroko-チョコロ-”を発足しました。情報発信ツールとして「ecoshare-エコシャレ-」を発刊したり、社内を出て、ピーチクリーンなどの体験活動を行ってきました。昨秋には「chorokoまつり」というエコフェスタを、ルミネ北千住の屋上で開催するなど、私たち自身が興味を持って取り組める等身大の環境活動を進めてきました。今年も参加した「アースデイ東京2014」では、洋服などのハギレを使った、サシェという香り袋のワークショップを開催しました。多くのお客さまにご参加いただき、その触れ合いは、さらなる活動へのモチベーションを育んでくれました。

### みんなで、新しい暮らしの価値を。

環境や社会に良い商品を選ばれるお客さまが少しずつ増えています。何気ない暮らしの中に、もう少し目を向けてみる。それはきっと、自分にとっても大切に愛しく思えるものが増えてゆく暮らしへと繋がっていくのではないのでしょうか。ものを長く大事に使う。人との関係を丁寧に結ぶ。そんな当たり前だと思うことを大切にしたい暮らしを積み重ねていった先に、環境や社会にやさしいライフスタイルがあるのだと思います。ルミネの環境活動は、まだまだ小さな取り組みですが、環境や社会に良い素敵な未来を皆さまと共に考え、そして築いていけるきっかけになればと思います。それが、私たちルミネが目指すエコ活動です。

ルミネ環境  
活動報告

その4

<http://www.lumine.ne.jp/world/choroko/>

詳しいchorokoの  
活動はHPにて。

ルミネ チョロコ

choroko